

中国におけるアフリカ豚コレラ発生事例について

本日 18 時、中国で初のアフリカ豚コレラ（ASF）発生事例について、中国当局担当者より微信（WeChat（中国版 SNS））により情報提供あり。概要以下のとおり。

<場所>

遼寧省（りょうねいしょう）瀋陽市（しんようし）瀋北新区（しんほくしんく）の養豚繁殖農場（383 頭飼養 詳細確認中）及び周辺農場



<経緯>

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 8月1日 | 疑い事例確認（383 頭のうち 47 頭で死亡、47 頭で臨床症状） |
| 8月2日午後5時 | 中国動物衛生・流行疾病センターにおける検査開始 |
| 8月3日午前11時 | ASF 確定 |

<対応>

中国当局は関係者に ASF 発生を周知。併せて専門家グループを発生エリアに派遣し、防疫作業を指導し、発生農場及び感染可能性エリアを特定し、殺処分、移動制限、消毒等のまん延防止措置を実施。

また、感染可能性エリア内で飼養している豚のサーベイランスを実施。

3日 15 時時点では発生農場及び感染可能性エリアで飼養する 913 頭を殺処分済み。現在、消毒実施中。

既に実施している夏期休暇期間中における口蹄疫等の防疫対策の徹底に加え、今般の発生をふまえ、動物検疫所では水際対策及び衛生証明書の発行停止措置を実施。また、都道府県及び関係団体等の国内関係者に関連情報及び国内対策について通知済み。

(参考情報) 中国農業農村部公表情報

中国農業農村部プレスリリース (2018年8月3日 16時28分付け) 中国で初のアフリカ豚コレラ発生

出典 URL:

http://www.moa.gov.cn/xw/zwdt/201808/t20180803_6155300.htm

(機械翻訳等に基づく仮訳)

本頁(ウェブ)農業農村部広報部は8月3日に遼寧省瀋陽市瀋北新区でアフリカ豚コレラ発生し、これは中国で第一例目であると発表した。

8月1日、遼寧省瀋陽市瀋北新区の某繁殖農家の豚にアフリカ豚コレラらしき症状が現れ、383頭飼養のうち、47頭で発病、47頭死亡した。農業農村部は、知らせを受けた後すぐに、当該地域に各種防疫措置とサンプリング検査の実施を指導した。8月3日には中国動物衛生・流行病学センター(国家外来動物疫病研究センター)での診断を経て、アフリカ豚コレラであることが確定した。

疫病発生後、農業農村部は「アフリカ豚コレラ緊急計画」に基づき、レベル2の緊急対応を発令した。当該発生地域では要求に応じ、応急措置の体制を整え、封鎖・殺処分・無害化处理・消毒を行い、封鎖されたエリア内への豚・感染しやすい動物・物品の持ち込み、或いはエリア外への持ち出しを禁止した。瀋陽市は既に一時的に市全範囲における豚の対外運送を停止しており、現在、疫病発生状況は有効にコントロールされている。

農業農村部はアフリカ豚コレラは人へは感染しないとしめしている。また同時に、豚の飼養者に対して疫病発生エリアからの豚の運搬を厳格に禁じ、日常的な消毒を心がけ、できる限り豚を閉じ込めてイノシシやダニとの接触をできる限り避けることを呼びかけている。また、高温処理されていない水や残飯を餌として与えることを厳禁している。原因不明の死亡、アフリカ豚コレラに似た症状があった場合は直ちに当地の獣医部門へ通知するように要請している。

欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年～)

